県内経済情勢
（令和８年 10 月判断）

令和８年 11 月５日

財務省関東財務局
千葉財務事務所

照会先
千葉財務事務所 財務課（TEL 043－251－7213）
ホームページ https://lfb.mof.go.jp/kantou/chiba/

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、持ち直している」

項　　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
総括判断	持ち直している	**持ち直している**	→

（注）8 年 10 月判断は、前回 8 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項　　目	前回（8 年 7 月判断）	今回（8 年 10 月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復しつつある	**一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある**	→
生産活動	持ち直しに向けた動きに一服感がみられる	**緩やかに持ち直しつつある**	↗
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	**緩やかに持ち直しつつある**	→
設備投資	8 年度は増加見込みとなっている	**8 年度は増加見込みとなっている**	→
企業収益	8 年度は減益見込みとなっている	**8 年度は増益見込みとなっている**	↗
企業の景況感	「下降」超となっている	**「下降」超となっている**	→
住宅建設	前年を上回っている	**前年を上回っている**	→
公共事業	前年を下回っている	**前年を下回っている**	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により持ち直しを支えることが期待されるものの、中東情勢や自然災害の影響を注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費　「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

百貨店販売額、コンビニエンスストア販売額は前年を下回っているものの、スーパー販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額、ホームセンター販売額は前年を上回っている。乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。娯楽などは、一部に弱さがみられる。このように個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 7～8 月上旬の売上げは好調だったものの、千葉豪雨以降、被害に関する報道が連日続いて消費者心理にマイナスの影響が及んだことなどにより外出控えの動きがみられ、来店客数は伸び悩んだ。（百貨店）
- 夏場に長雨が続き、夏の定番商品であるペットボトル飲料やアイスなどの売上げは伸び悩んだが、一部店舗の改装等が功を奏し、売上高、客数、客単価は前年同月比で増加した。（スーパー）
- 台風や大雨によりイベントが中止になるなど、外出・レジャー需要が低下し、弁当類やソフトドリンクといった主力商品が伸び悩んだ。（コンビニエンスストア）
- 4 月以降、新車登録台数・受注台数ともに前年を上回って推移しているところ、千葉豪雨等の被害により、更に受注台数が増加している。中古車も非常に堅調な販売動向となっている。（自動車販売）
- 例年 7～9 月は猛暑のため客足が落ちるが、今年は天候不順や台風 25 号による施設の冠水と停電の影響により、前年同期比でも落ち込み幅が大きかった。（娯楽）
- 浦安地区、千葉市周辺地区及び成田地区では例年並みの集客が見込まれる。一方、南房総エリアでは公共交通機関の長期不通や、浸水被害の復旧作業による一時的な施設閉鎖などにより、施設来場者数が落ち込んでいる。（業界団体）

■ 生産活動　「緩やかに持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、食料品、生産用機械などは減少しているものの、化学、石油・石炭、鉄鋼などは増加しており、全体としては、緩やかに持ち直しつつある。

- 6 月までは中東情勢の影響によりナフサの調達が困難であったが、7 月以降、調達環境の改善により稼働率が上昇したため、エチレンやプロピレンの生産量は増加した。（化学）
- 中東情勢の影響により原油・ナフサ等の調達環境が不安定化し、原材料価格や物流価格が上昇している。燃料油事業では政府の燃料価格対策もあり、国内需要は概ね堅調に推移している。（石油・石炭）
- 7 月までは前年同期を上回る生産量であったが、千葉豪雨や台風 25 号に伴う大雨により設備に被害が発生し、8 月以降は減産となっている。（鉄鋼）
- 不安定な中東情勢の影響により原油価格が押し上げられており、運送費や包装材料費などのコスト上昇要因となっている。（食料品）
- 包装材印刷用機械の国内需要は、先行き不透明感から全体的に低調となっているが、海外需要は中国向けを中心に好調である。（生産用機械）

■ 雇用情勢　「緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率は横ばいで推移している。新規求人数は増加している。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。このように雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつある。

- 現在は売手市場で新卒は全く採用できない。給与等の条件面だけでなく、事務室やトイレ等の職場環境を改善し、働きやすさもアピールポイントとして採用活動を行っている。（製造）
- 医薬品販売の有資格者は、新卒のほか中途でも採用する予定であるが、転職してしまうケースもあり苦戦している。募集についての施策として、人材紹介企業も利用している。（小売）
- 人材確保に向けて様々な求人サイトを利用したものの、良い反応が得られず苦戦している。人材採用や定着率向上のため、他社に引けを取らない賃上げや、一層の福利厚生の拡充に取り組む。（娯楽）

■ 設備投資　「8 年度は増加見込みとなっている」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7～9 月期

○ 製造業では前年比 24.7%の増加見込み、非製造業では同 103.1%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同 88.8%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益　「8 年度は増益見込みとなっている」（全規模）「法人企業景気予測調査」8 年 7～9 月期

○ 製造業では前年比 20.2%の増益見込み、非製造業では同 1.1%の減益見込みとなっており、全規模では同 3.1%の増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感　「『下降』超となっている」（全規模・全産業）「法人企業景気予測調査」8 年 7～9 月期

○ 先行きについては、8 年 10～12 月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設　「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅のいずれも前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

■ 公共事業　「前年を下回っている」

○ 公共工事請負金額をみると、前年を下回っている。

県　内　経　済　情　勢
（令和8年10月判断）

（ 資 料 ）

目次　　（頁）

１．個人消費・・・・・・・・・・　１

２．生産活動・・・・・・・・・・　２

３．雇用情勢・・・・・・・・・・　３

４．設備投資・・・・・・・・・・　４

５．企業収益・・・・・・・・・・　４

６．企業の景況感・・・・・・・・　４

７．住宅建設・・・・・・・・・・　５

８．公共事業・・・・・・・・・・　５

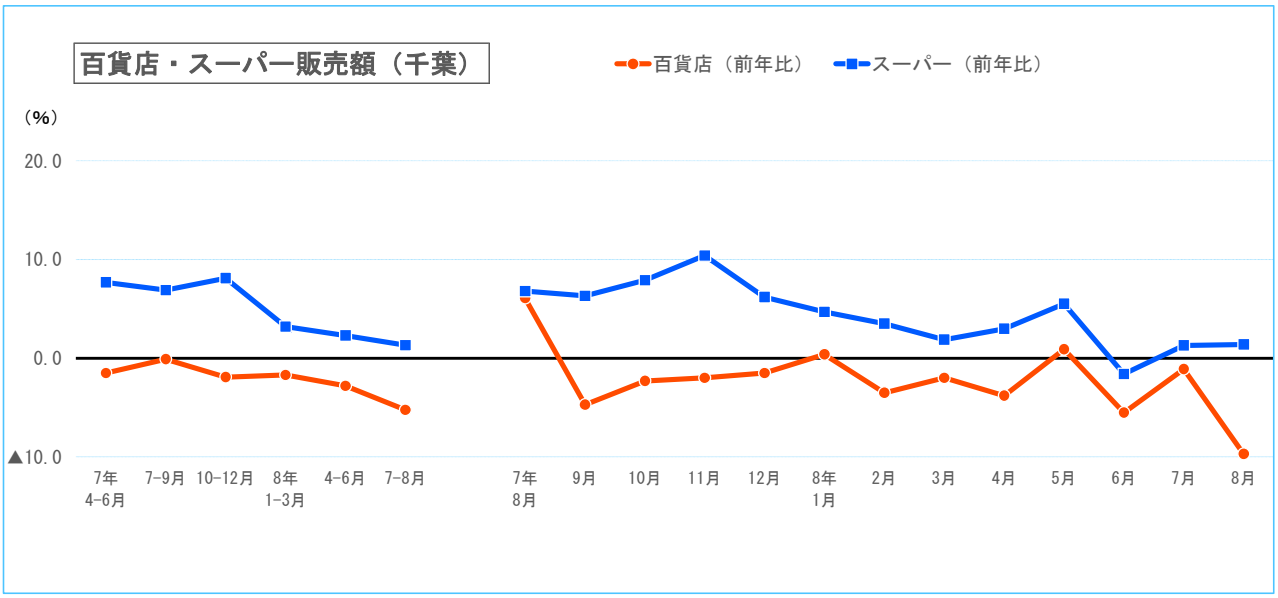
令和8年11月5日

財 務 省 関 東 財 務 局

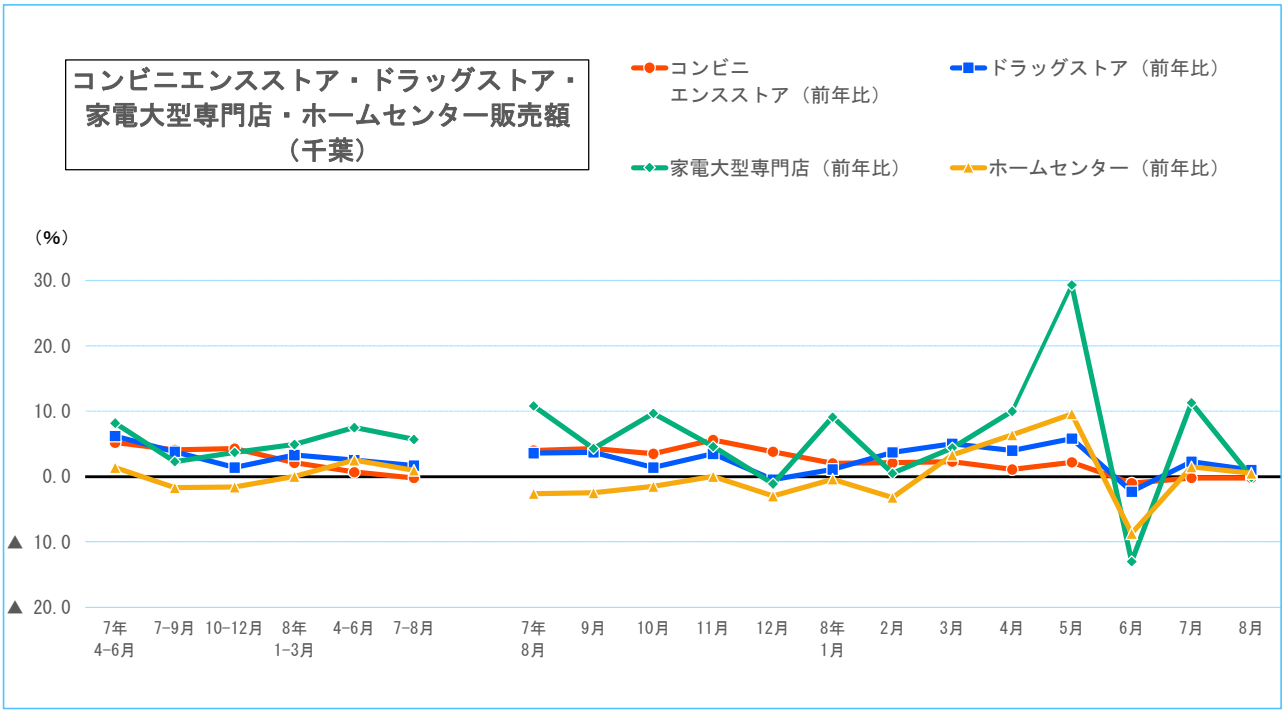
千 葉 財 務 事 務 所

1. 個人消費

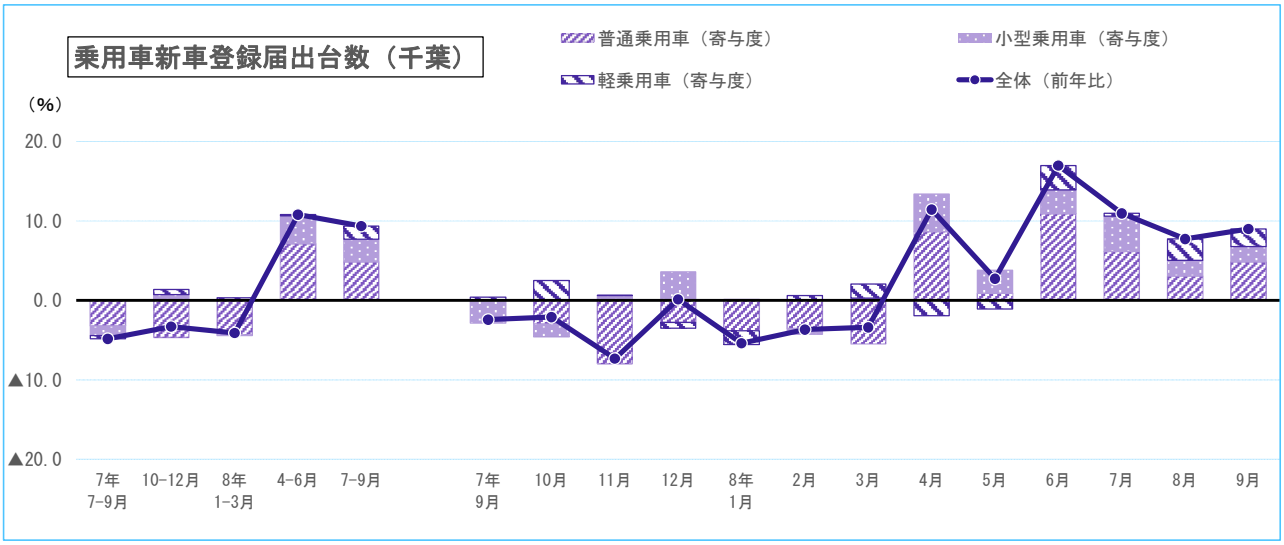
一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある



【経済産業省】



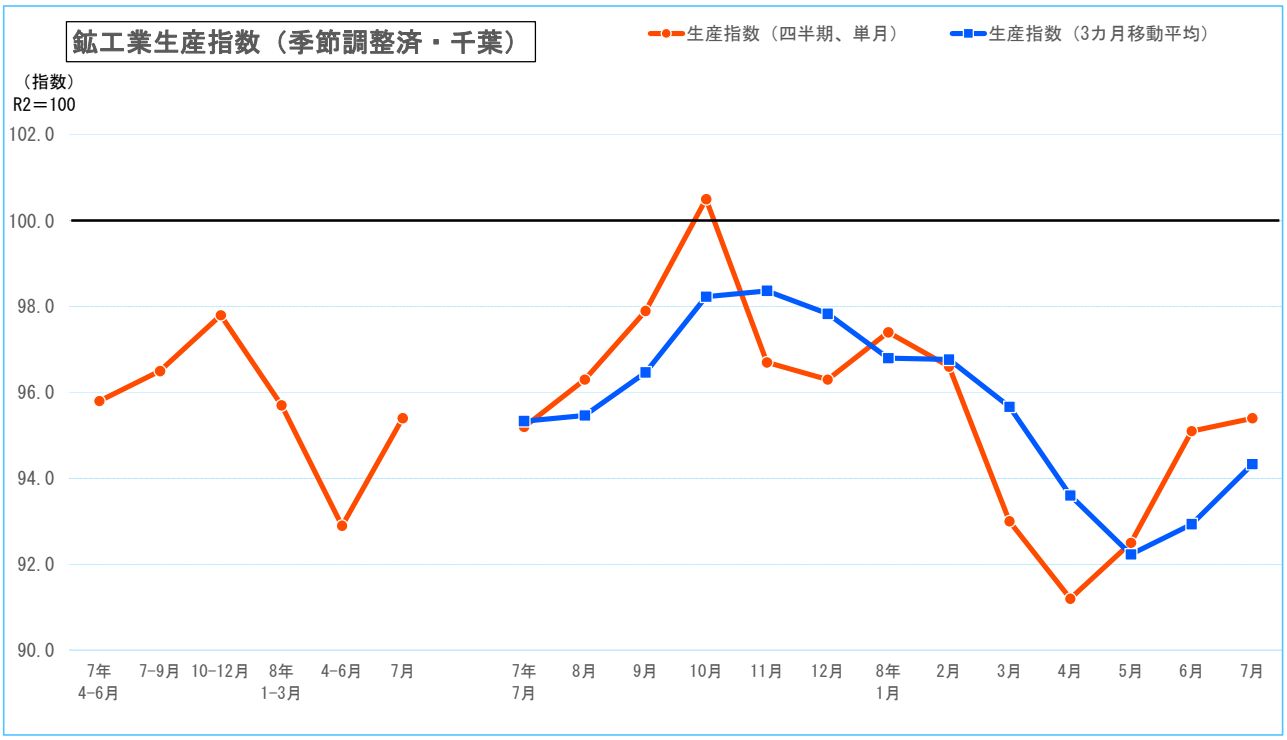
【経済産業省】



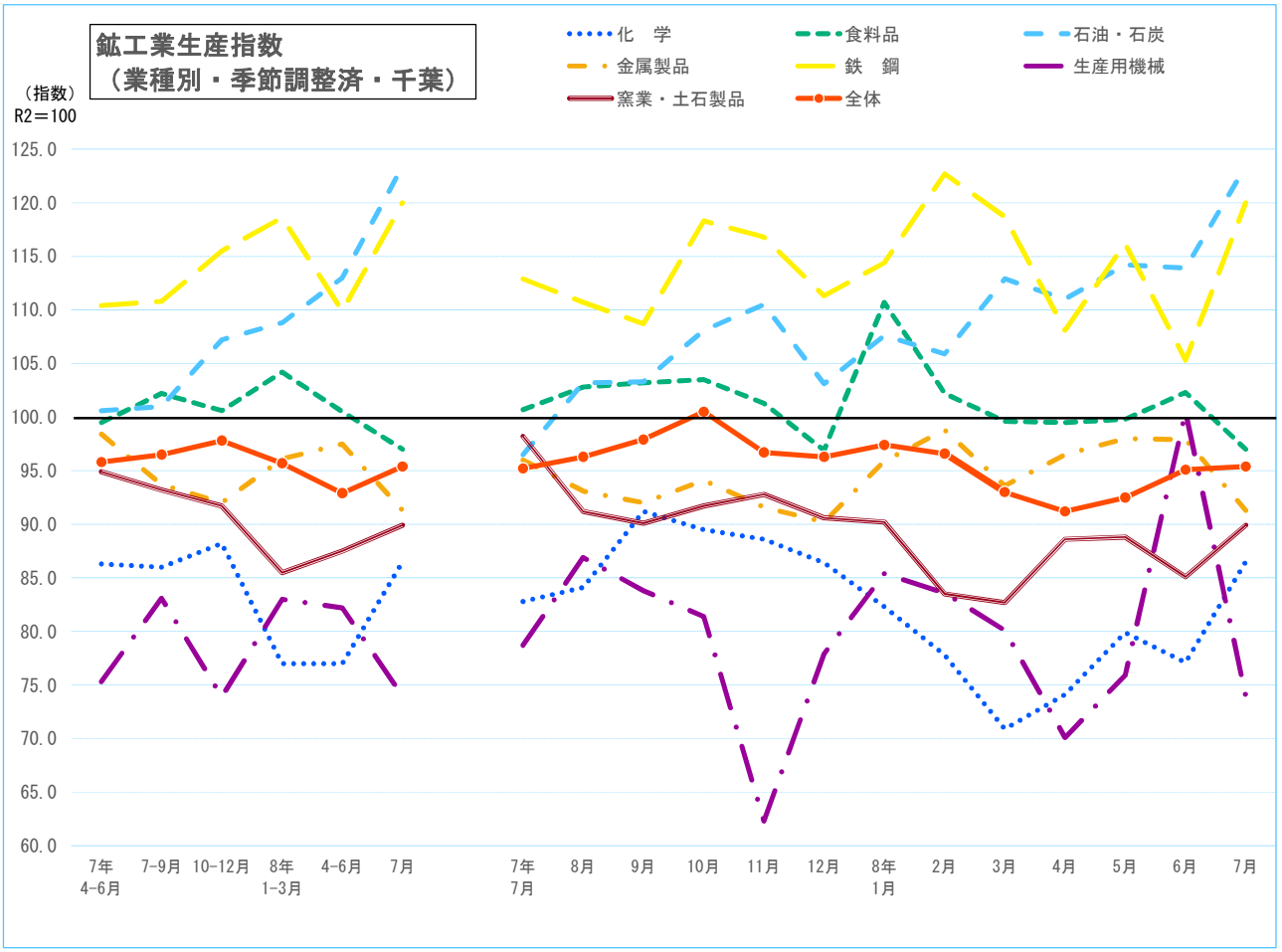
【日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会】

2. 生産活動

緩やかに持ち直しつつある



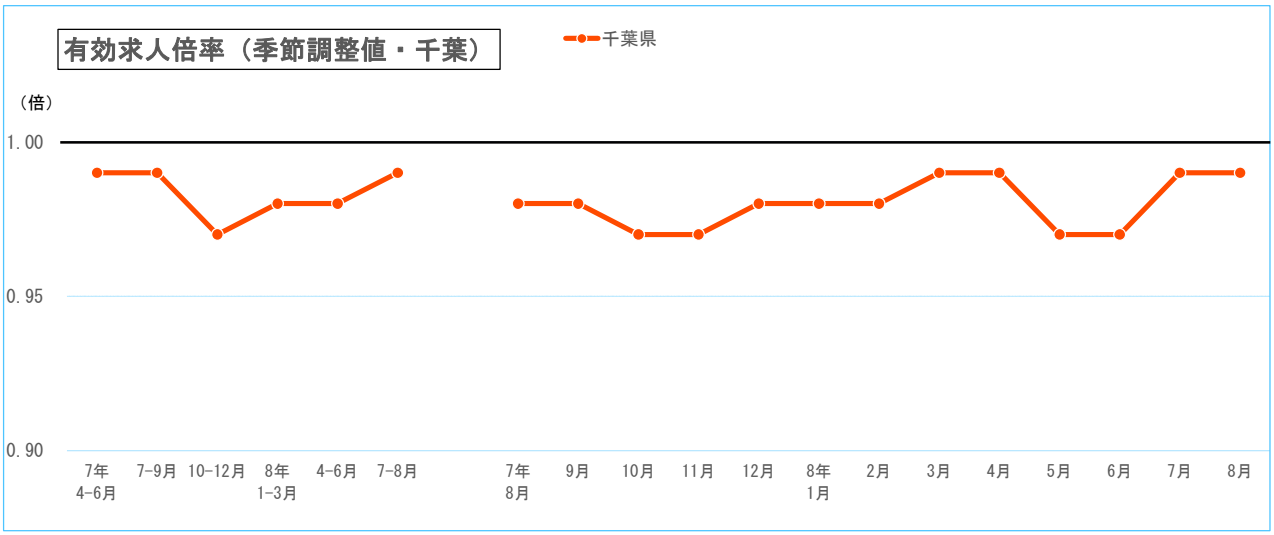
【千葉県】



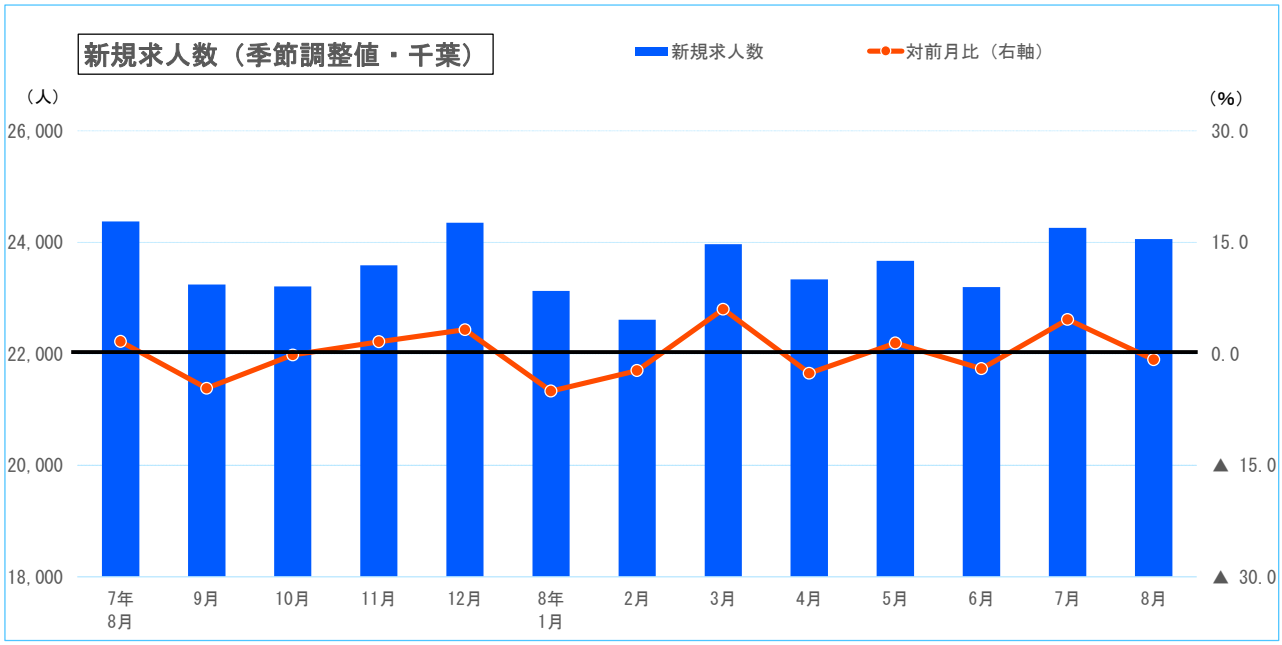
【千葉県】

3. 雇用情勢

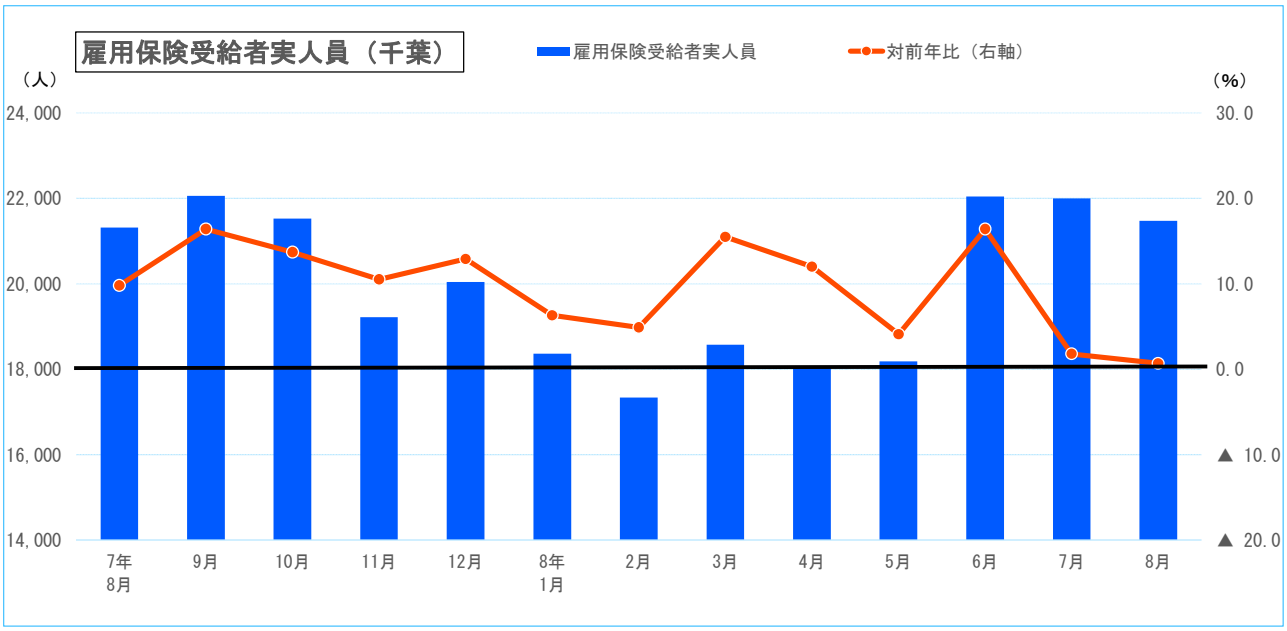
緩やかに持ち直しつつある



【千葉労働局】



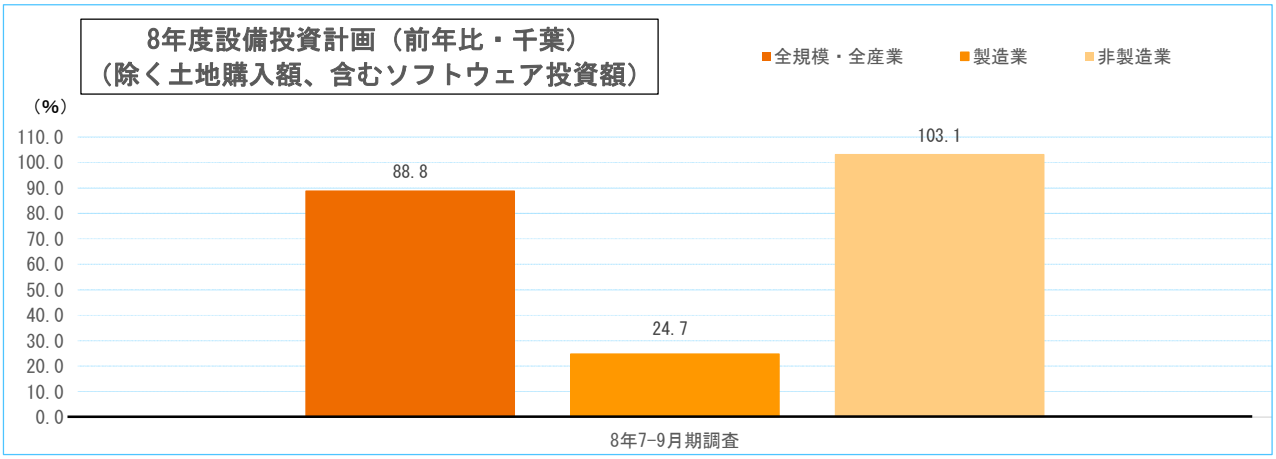
【千葉労働局】



【千葉労働局】

4. 設備投資

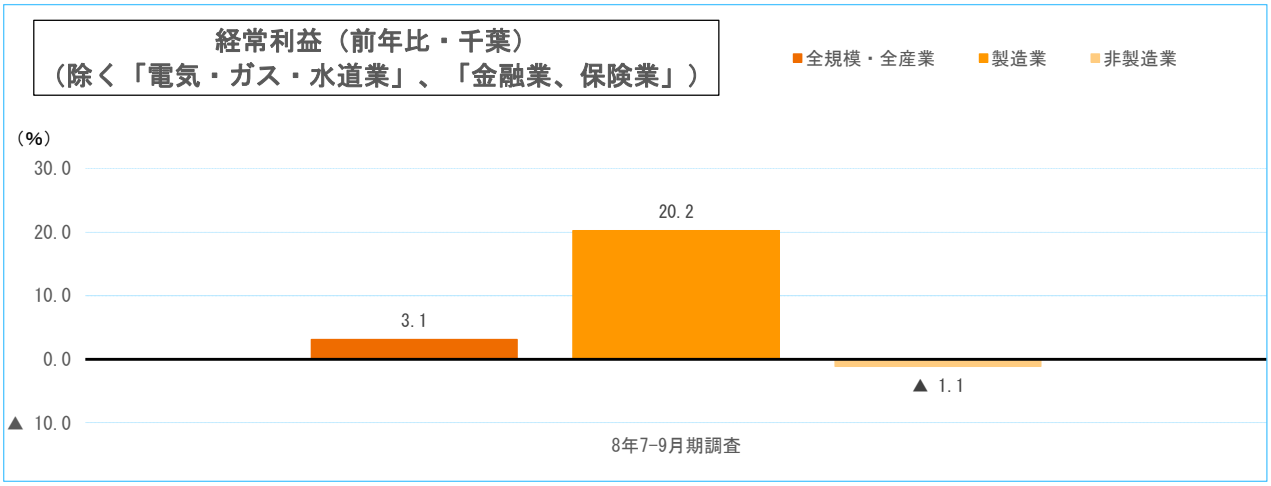
8年度は増加見込みとなっている



【千葉財務事務所（法人企業景気予測調査）】

5. 企業収益

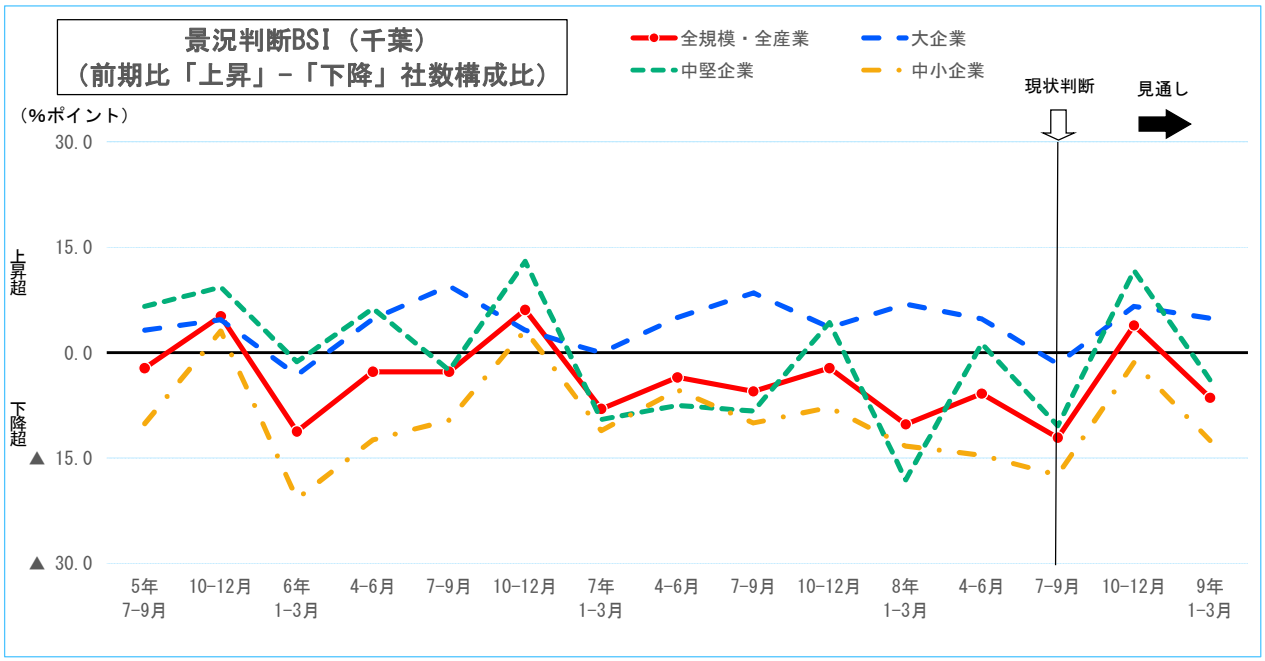
8年度は増益見込みとなっている



【千葉財務事務所（法人企業景気予測調査）】

6. 企業の景況感

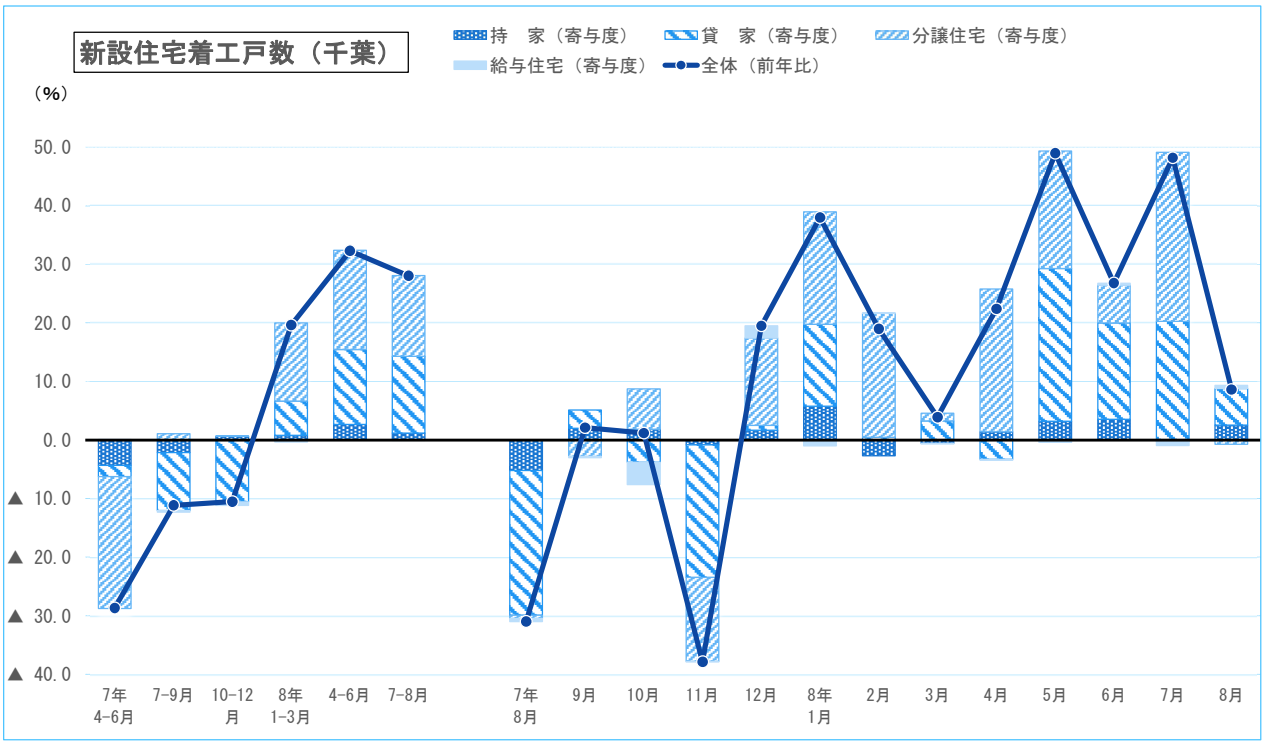
「下降」超となっている



【千葉財務事務所（法人企業景気予測調査）】

7. 住宅建設

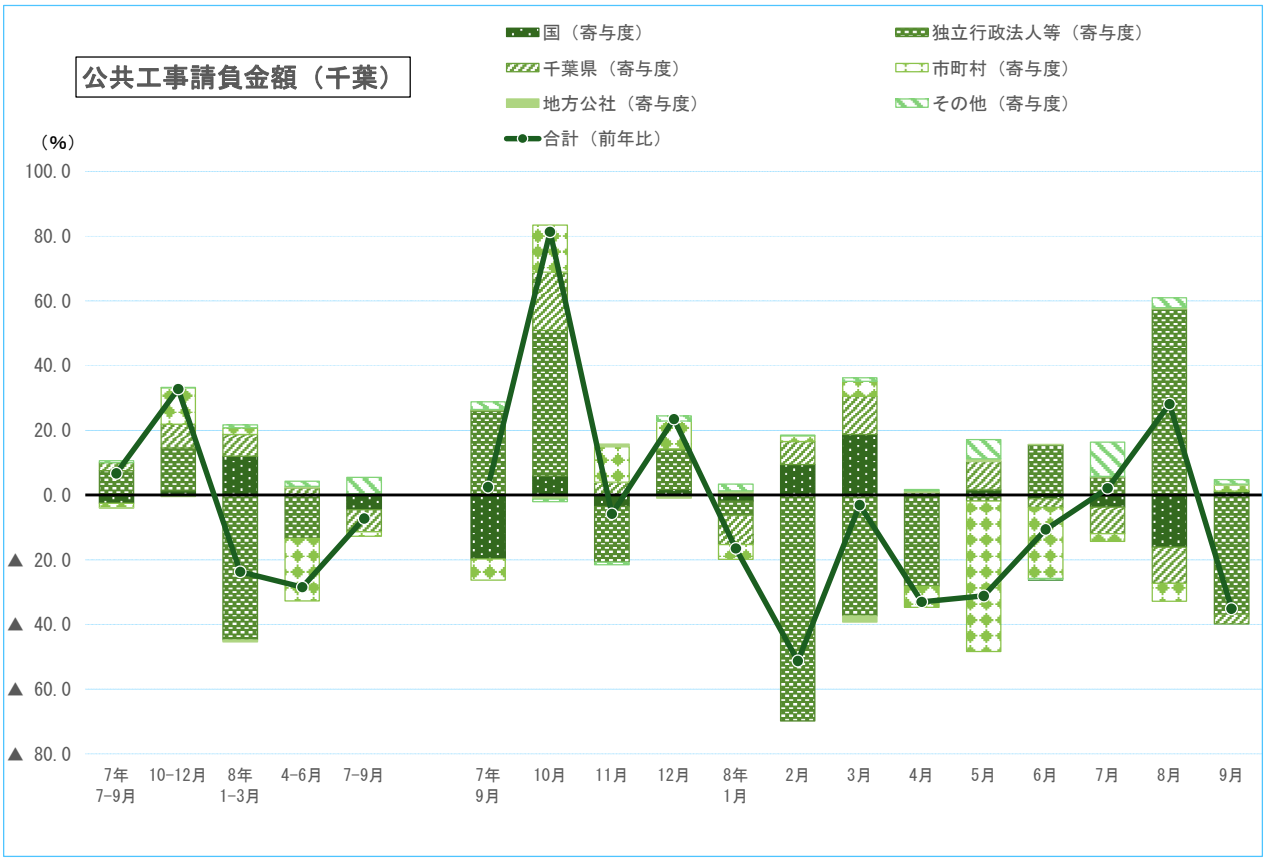
前年を上回っている



【国土交通省】

8. 公共事業

前年を下回っている



【東日本建設業保証株式会社他】